

BCP策定・BCMS構築支援サービス NEW

事業継続計画 (BCP) および簡易BCP策定、 事業継続マネジメントシステム (BCMS) 構築をサポート

(株)ヒルベツ・ソリューション社 (<http://www.hillvet.co.jp/>) と提携し、「BCP策定・BCMS構築支援サービス」を開始しました。弊社では、BCP作成支援ツールや道路損傷情報システムなどのITサービスも合わせてご提供します。

■事業継続計画 (BCP) 策定支援 価格: ¥1,300,000~
災害時の全社的な初動・復旧対応イメージやサプライチェーンの被災状況を反映した復旧対応イメージが明確につかめる実効性のあるBCP策定のお手伝いをいたします。

■簡易BCP策定支援 価格: ¥200,000~
災害時の全社的な初動・復旧対応イメージが各部門間で共有できるBCP策定のお手伝いをいたします。

体験
セミナー

■事業継続マネジメントシステム (BCMS) 構築支援

価格: ¥2,000,000~
ISO22301に基づくBCMS構築を支援いたします。



事業継続マネジメントシステム

ISO22301の認証を取得 (2012年 12月 14日)

弊社は、2012年12月にISO22301の認証を全国で13番目に取得しています。
※「ISO22301:2012」での取得順番、2013年1月31日現在当社調べ。

3Dコンテンツサービス NEW

建築空間と映像の融合コンテンツおよびVRを活用した投影検討

フォーラムエイトでは、社外の専門家とフォーラムエイトのソフト・技術サービスを融合させ、ユーザに最適な各種技術コンサルティングを行う「技術コンサルティングサービス」を提供しています。このひとつとして位置づけられる「3Dコンテンツサービス」では、3Dメディア分野で幅広く活躍中の町田聡氏(フォーラムエイト顧問、アンビエントメディア代表、コンテンツサービスプロデューサー)をアドバイザーとして、デジタルサイネージやプロジェクションマッピングをはじめとした、3Dメディアのコンテンツおよびシステム提案を行っています。

目黒 円融寺 大晦日イベント 2012年12月



プログラムの機能と特長

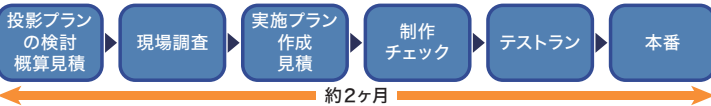
■提供中の「3Dコンテンツサービス」

- ・プロジェクションマッピング ・デジタルサイネージ ・3D立体視
- ・書籍「3D技術が一番わかる」町田聡/著 技術評論社刊 他
- 参考: メールサービス: 町田聡の3Dコラム【コンテンツはサービスだ!】
Up&Coming 町田聡氏連載「3Dコンテンツニュース」

■3Dプロジェクションマッピングサービスの概要

プロジェクションマッピングは、建築物や車、家具など、実物(立体の構造物)に直接プロジェクターで投影する新しい映像表現。ヨーロッパではコンサートやイベント、広告、都市景観のライティングとして観光客誘致にも広く活用されています。イベント集客から店舗演出、地域活性化まで、さまざまな目的に対応いたします。

■プロジェクションマッピングの制作スケジュール



■VRを活用した投影シミュレーション

UC-win/Road、3Dエンジニアリングサービスを活用した投影シミュレーションにより、事前にスケールモデルやVRデータでイメージの確認が可能。コンテンツの検討、確認、打合せ、発注者への説明・アピールの他、イベントの事前、事後の展示による宣伝にも利用できます。

■モデル投影プランの概要

プランの一例

- ・ロケーション: 屋外、環境光少ない暗所、投影・設置とも交通や近隣に影響しない私有地内
- ・投影対象: タワー状建築物でシンプルな立方体で構成されている
- ・建築物サイズ: W10m x D6m x H20m
- ・建築物材質: レンガ(茶色/非光沢)
- ・投影箇所数: 最大2か所から投影
- ・投影距離: 約15m(近所)、約40m(遠所)

モデル投影プラン一覧(2D, 3Dコンテンツ)

※音響費用: モデル投影プランには音響機材と音響コンテンツの合計、約100万円が含まれています

機材構成	1台
高機能映像プロジェクタ	515万円~

※3Dアニメーションコンテンツ+音響含む

- ・作品の長さ 約3分、映像、音響(選曲、MA)付
- ・映像音響機材レンタル期間 3日間(仕込み1日/本番2日)
- ・現場テスト含む・企画進行含む(進行制作管理)
- ・機材運搬・設置・調整含む ・オペレーター、映像音響技術者含む
- ・関東は遠は運送、交通費、宿泊費がかかります
- ・架台製作費やクレーン利用費などは含まれません

10000/20000ルーメンの映像

プロジェクタによる投影プラン

2台構成



10,000ルーメンは20,000ルーメンに比較して輝度や面積が少なくなります。本来煉瓦地は20,000ルーメンをおすすめします。

■UC-win/Road、3Dエンジニアリング サービスのプロジェクションマッピングへの活用

① 点群データの計測とモデル化



3Dレーザースキャンによって投影対象を計測建物の点群データをもとに、建物の3Dモデルを作成



計測された点群データをもとに建物の3Dモデルを作成

② 投影シミュレーション

■3DVRエンジニアリングサービスの活用



■UC-win/Roadの活用



EXODUS や Legion による群集シミュレーションと組み合わせ、当日の人の動線も検討可能

UC-win/Road により現地を再現したVR空間で3Dモデル化した対象に仮想プロジェクタによるコンテンツ投影。任意の位置・視点・時刻・気象条件で投影シミュレーション可能。